

榎便り

社会福祉法人 えのき会
京都市伏見区桃山町山下44の8
(075) 605 0303

デイさくらの家&榎の家

夏祭り

暑かった猛暑が過ぎ去り、徐々に秋の風を感じるようになってきました。

さくらの家では7月はテラスで水遊び、8月は「さくらの家夏祭り」を楽しみました。コロナ禍の影響で、世間ではお祭りがほとんど中止になっているなか、少しもお祭りの雰囲気味わい、利用者の方の楽しみを増やしたいと、ヨーヨー釣り、おもちゃすくい、お菓子釣り、缶バッジ作り、そして音頭に合わせた和太鼓演奏と盛りだくさんで、夏を締めくくりました。利用者の方の笑顔もたくさんみられ、職員一同満足した夏祭りになりました。



また、榎の家の夏祭りではスイカ割り大会をしました。といっても本物のスイカはさすがに：でしたので、段ボールでスイカを作りました。そして、毎年恒例の浴衣を着ての記念撮影など、みんなで楽しく過ごしました！



デイさくらの家

秋の芸術祭

夏が終わり秋：秋は「芸術の秋だ！」と、12月にみやこめっせで開催される「京都とっておきの芸術祭」に出展するために、作品作りに励んでいます。

新聞紙を破ったり、クルクルと丸めたり、テープで貼ったりと、職員と利用者さんと協力しながら楽しく制作しています。作品名は「たわわちゃんと京都市動物園の仲間たち」。

完成した「たわわちゃん」が可愛くでき上がったので、さくらの家の癒しにもなっています。



あれ？
ちゃんと割れるの？

居宅 サポートセンターめい

マスクにひと工夫

最近、外出にマスクがかかせないですね。でも「毎日使っていると耳が痛い」という声をよく聞きます。ヘルパーをしていると「痛い」と訴えない利用者さんでも耳が赤くなっていたり、耳が切れているなんてこともありました。なので、今回は耳が痛くならないような対策を紹介します。

① マスクに耳当て



市販のものも売られているようですが、手軽なのはティッシュです。1枚使うとゴワゴワするので半分ちぎって使うと使いやすかったです。耳の上の部分がかぶるかなるので、そこに合わせてティッシュを巻くだけ！

② マスクフックの自作

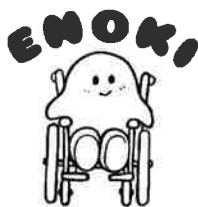


見た目がちょっと、と思われたら自作でかわいい物がたくさんあります。

③ 帽子にマスク
最近ではもともとマスクをかけられるようになってきている帽子も売られているようです。



コンパクトになって持ち運びができるようです。画像にケースに収納ができるようです！



研修 報告

*コロナウイルス、感染症予防のため分散型の開催とします。

摂食研修

時間…10:00～12:30
場所…さくらの家2階会議室

講師…言語聴覚士 中谷 芽氏

研修内容

実技をふまえた嚥下に関する基礎研修。基本的事項を中心に、利用者の姿勢、口腔への介助方法などを学ぶ。

職員の感想など

・姿勢等、今一度利用者の様子を感じ取ったりコミュニケーションとりながら、楽しい食事と思ってくけるようにしていく。

・嚥下の構造を理解したり、むせや姿勢の事を意識して介助して、こうと思つた。また食事時の危険な、軌道侵入や飲み込みの動作を自ら体験して、利用者さんの気持ちが変わった。

・食事介助は姿勢が一番大切であること。口の中に残っている時は空嚥下(スプーンに少しだけ盛って口の中に入れ舌を押すこと)するとよいことやトロミ剤も入れすぎると粘着性が高まって危険であることなどいろいろ勉強になることをわかりやすくご教授してください。

ケースカンファレンス

時間…10:00～12:30
場所…さくらの家1階やえのきの家など

研修内容

各事業所におけるケースを取り上げディスカッションを行い、1つ1つのケースを深く掘り下げて考える事の習慣化を目的とし、様々な考え方の共有、日々の自身の支援の在り方、自己点検の機会とする。また今回の研修を通じて、職員間での意見交換を経て、職員1人1人の今後の支援の質の向上を目的とする。

職員の感想など

・こういった形で話あう事が大変良いと思います。利用者さんの違った面等を聞けて参考にしたいと思つた。またこれからの支援で、今までは違った形で支援する事ができるかもと、これから考えながら支援を行いたいです。

・関係者で集まるカンファレンスとは違い、寄り道だの遠回りしながら展開できる／していく楽しさがあつたし、何より横道にそれたりしながら、たくさんの方が集まることで何よりおもしろい気が付くが得られるということの確認ができた。

・職員同士で話し合うことで気づいてなかったことに気付くことができたりして利用者さんへの接し方や介助方法を見直すきっかけになり勉強になった。